

東寺（教王護国寺）旧境内  
発掘調査現地説明会資料

2002年2月16日

財団法人京都市埋蔵文化財研究所



## 東寺（教王護国寺）旧境内発掘調査現地説明会資料

所在地 京都市南区壬生通八条下る東寺町（洛南高等学校構内）

調査期間 2001年6月18日～継続中

調査面積 約3,770㎡、第1区（1,900㎡）第2区（1,870㎡）

調査主体 （財）京都市埋蔵文化財研究所

### 1 はじめに

平安時代の初めに造営された東寺は、北は八条大路（現八条通）、南は九条大路（現九条通）、東は大宮大路（現大宮通）、西は壬生大路（現壬生通）に囲まれた方八町という広大な面積を占めていました。南半には金堂、講堂、食堂、塔などの伽藍が配置され、北側には大衆院、倉垣院といった東寺を支える色々な施設があったと推測されています。現在も主要な伽藍のある南半部分はよく往時の姿を留めています。しかし、北半は民家や東寺の子院、学校などにかわっており、その旧状をうかがい知ることはできません。

今回、調査を実施している洛南高等学校のグラウンドはまさにこの東寺旧境内北半の一面にあたり、東寺を支えた諸施設の状況やその後の変遷を知る上で重要な位置を占めています。

### 2 調査の概要

今回の調査では調査区を東（第1区）と西（第2区）の2回に分けて実施しています。現在既に第1区の調査を終え、第2区の調査が進行中です。これまでに確認した遺構は江戸時代、鎌倉から室町時代、平安時代中期から後期の大きく3つの時期に分けることができます。

#### 江戸時代（第1区・第2区）

江戸時代の遺構は東寺に残されている古絵図とよく合致しています。絵図には調査区の東側に当たる第1区に金勝院、第2区北半に増長院、南半に宝泉院という子院が描かれています。調査では南北方向の石垣、東西方向の溝と柵列を検出しており、それぞれが子院の境を示していたものと推測しています。金勝院の敷地では絵図に記されていない建物やカマド群、増長院には溝に区画された中に地鎮具と考えられる壺を配置した状況、宝泉院には建物や園池なども確認することができました。

鎌倉から室町時代（第1区） 東西あるいは南北方向の溝（堀）によっていくつかの区画があり、この中に建物、倉庫や室、井戸などが配置されている様子が確認できました。

#### 平安時代（第1区）

調査区全体に湿地状の堆積が広がり平安時代中期の終わり頃から後期の井戸、土塼を少数確認しているに過ぎません。ただ、調査区の東南部が微高地状になっており、ここから平安時代前期の瓦が大量に出土しています。瓦には焼けひずんだものや牛焼けのものが多く含まれており、近くに瓦窯があったことを示しています。

### 3 室町時代の遺構（第2区）

今回説明します遺構は、第2区の室町時代後期の遺構です。ここでは調査区の東、北、西端にそれぞれ溝（溝1・2・3）を検出しており、この溝によって区画された敷地の北半にやや大型の建物（建物4）〔東西12m、南北11m〕が配置されています。その東側に隣接して小型の建物（建物5）〔東西7.5m、南北3.5m〕が付属しています。北側には井戸（井戸6）があり、さらにその北側には東西方向の柵列（柵列7）があります。また、調査区の南西部には、南北溝に近接して礎石や柱穴が集中している所が認められます。近世の遺構に壊されているため判然としませんが、このあたりにも建物（建物8）や柵列（柵列9）が存在していたものと考えています。

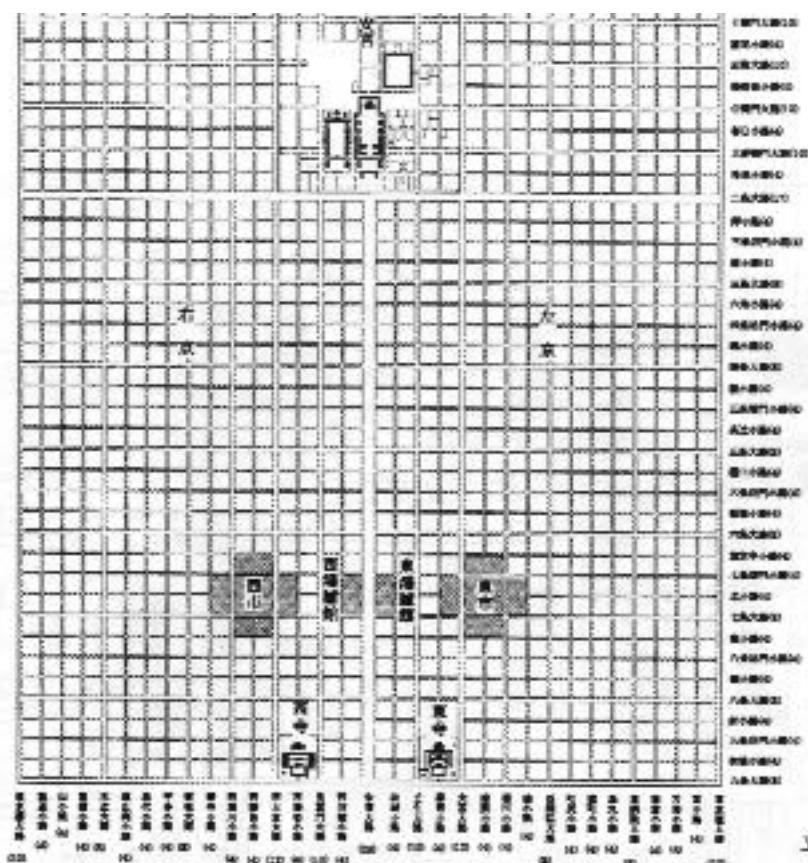
建物4は、その平面構成から仏間を備えた客殿風の建物であったと考えられます。これによって室町時代後半に当地に子院が形成されていたことがわかります。

### 4 まとめ

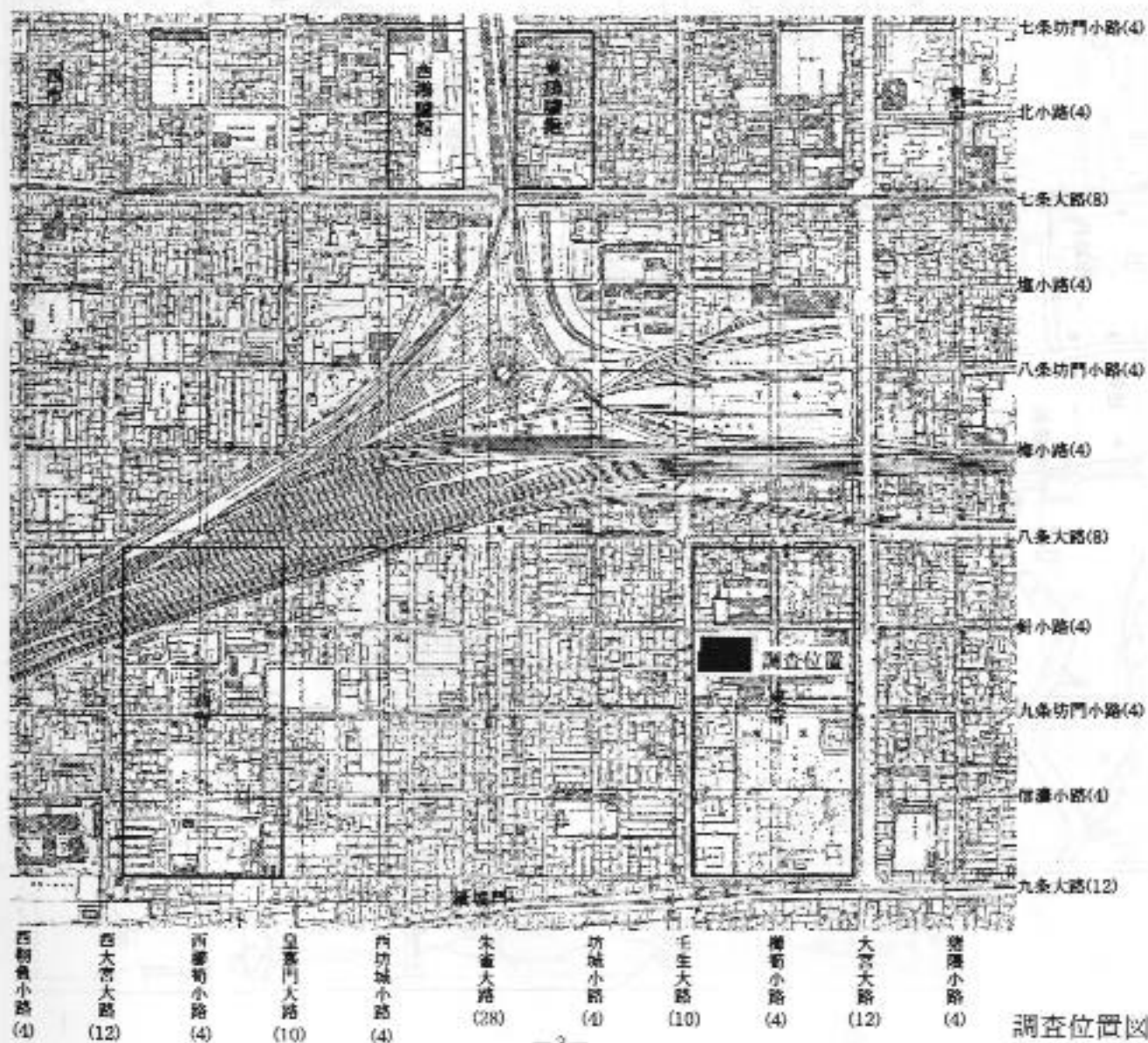
今回の調査で分かったことを時代順にまとめると

- ①平安時代前期には調査区の近くに東寺造営に伴う瓦窯が築かれていたと考えられます。
- ②室町時代には溝で区画された中に、建物や倉庫、井戸などが配置され、当地に子院が形成され始めます。
- ③江戸時代にも引き続き子院が営まれました。

今回の調査で東寺（教王護国寺）旧境内の北半部の利用状況とその変遷の一部が明らかになったことは大きな成果でした。



平安京復原圖



調査位置圖





Y-22.830

第1区

Y-22.850

Y-22.870

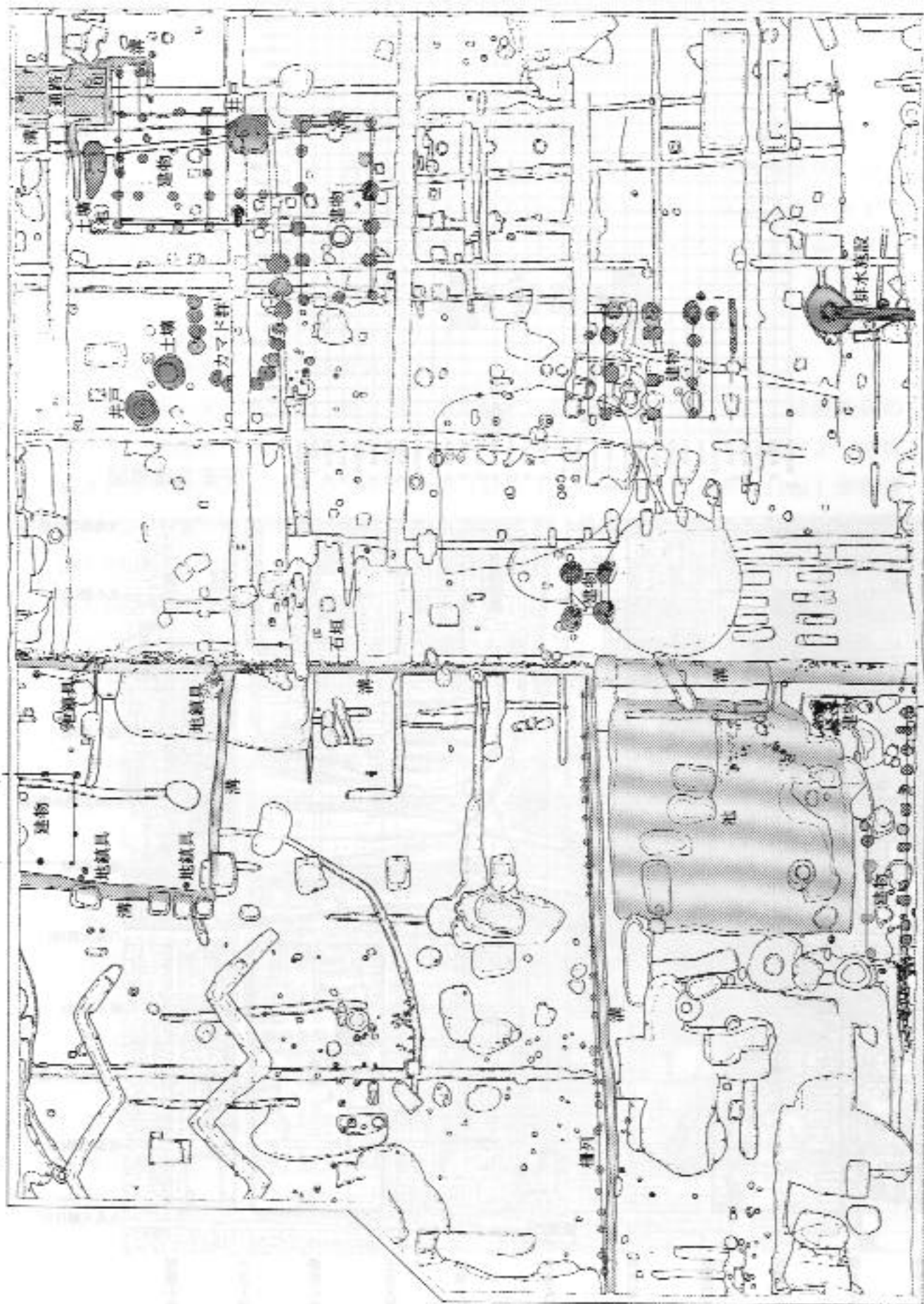
第2区

Y-22.890

-X-113.16

-X-113.18

-X-113.20



Y=22,890

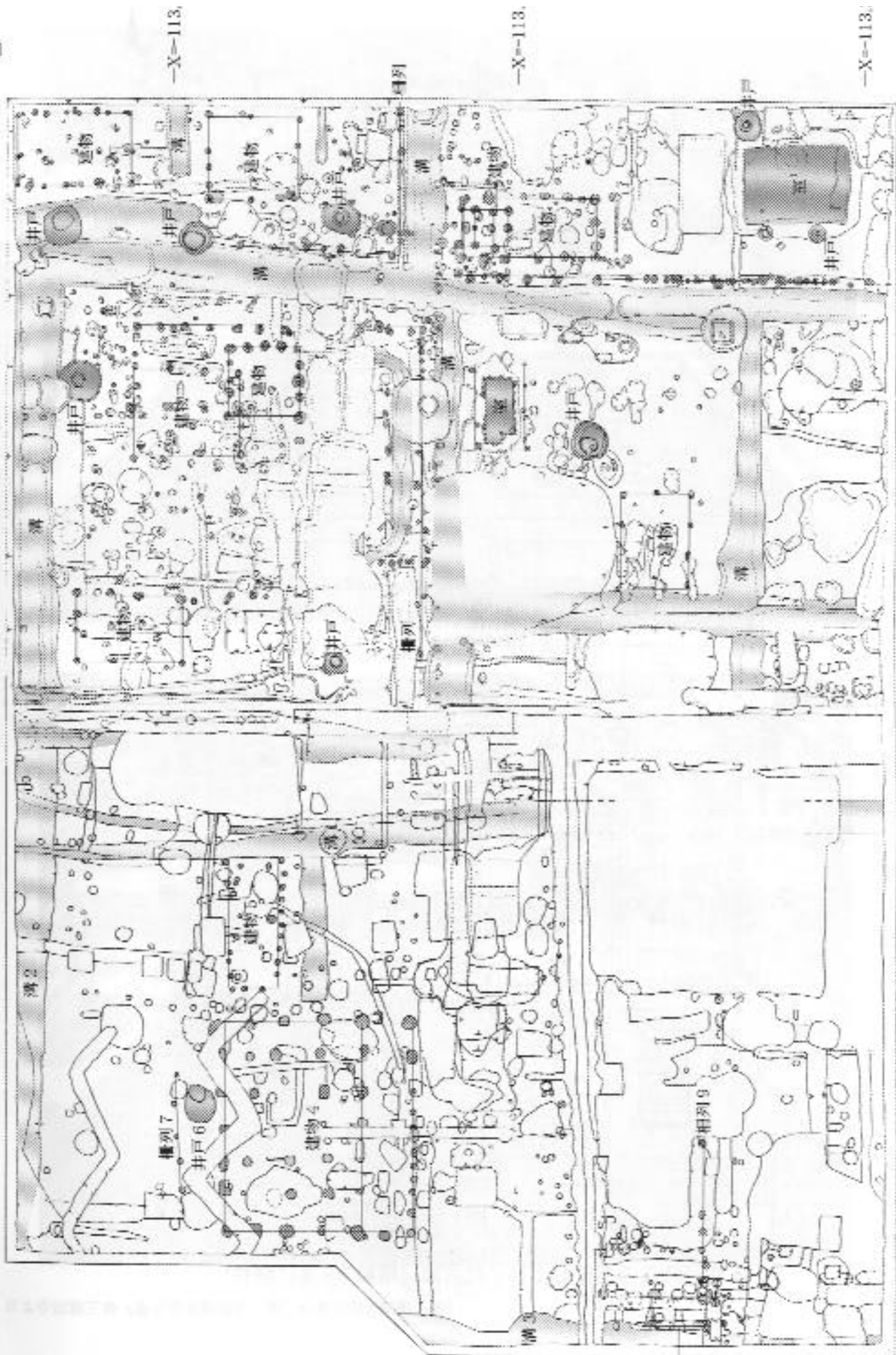
第2区

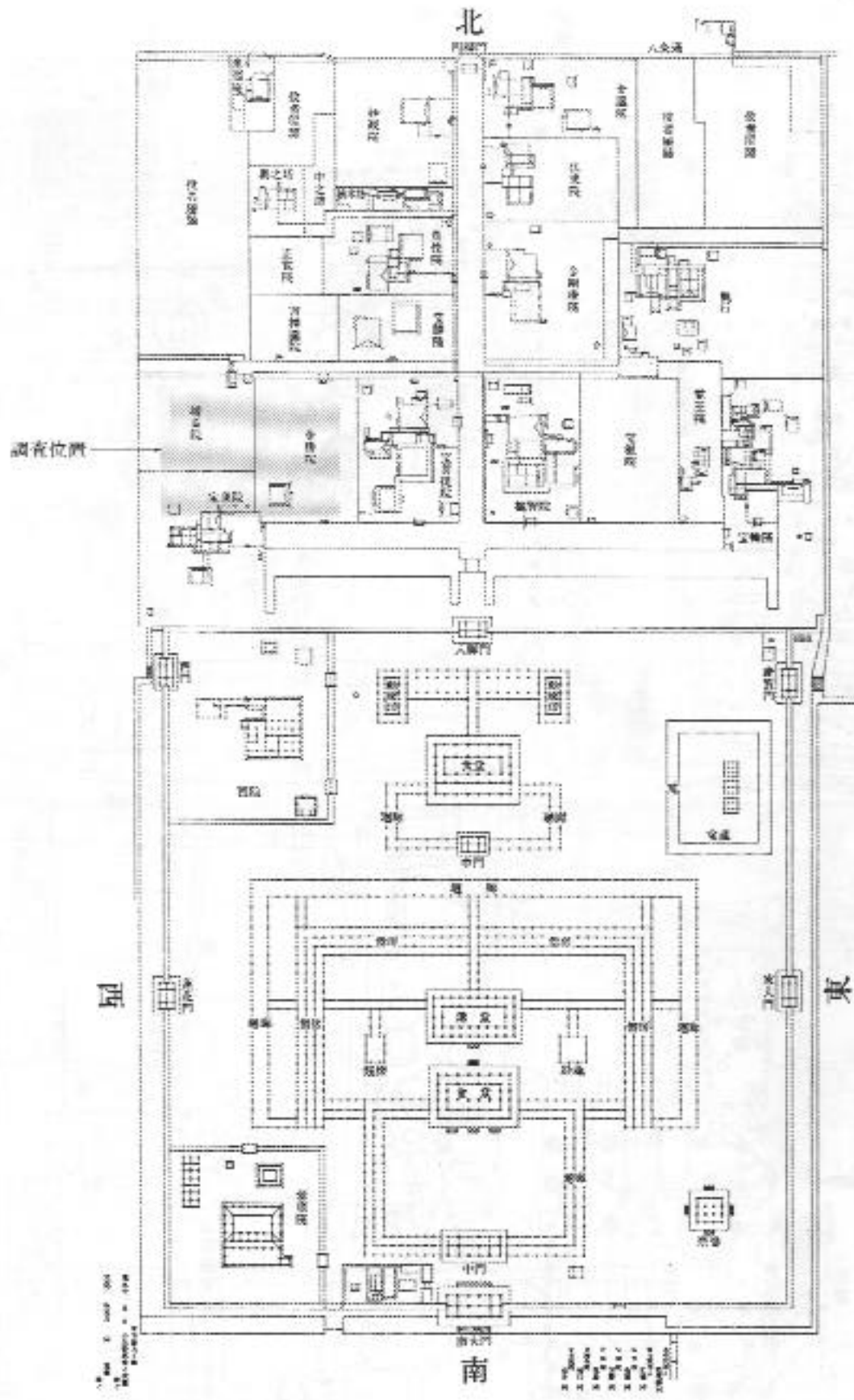
Y=22,870

Y=22,850

第1区

Y=22,830





江戸時代の伽藍および子院古図（昭和55年に調整）

『教王護国寺防災施設工事・発掘調査報告書』教王護国寺より





第1区 第1面全景（西から）



第2区 第1面全景（東から）



第1区 第2面全景（北西から）



第2区 第2面全景（北東から）



第2区 建物4全景（北から）



第2区 土器検出土坑（北から） 第2区 南西部礎石列（北から）